

今週の株式相場見通し

* 日経平均 20,700~21,800円 TOPIX 1,510~1,580

* 期待材料 米・欧・中などの金融緩和 米中貿易協議進展

* 不安材料 地政学的リスク 米中貿易戦争 想定以上の企業業績悪化 英国のEU離脱問題

21日の参院選で改憲勢力は国会発議に必要な3分の2を割り込むとの観測が高まっているが、自公で改選過半数及び非改選と合わせて参院の過半数を確保する見込みであり、この通りであれば週明けの株式市場に選挙結果が大きな影響を与えることはないものと思われる。今週から日本においても3月期決算企業の1Q決算の発表が本格化する。事前に発表された2月期決算企業などの直近業績は低調な内容が多く、また、現時点において米中貿易協議を筆頭に先行き不透明感を払しょくするような材料にも乏しいことを踏まえると、低調な企業業績と慎重な見通しが相次ぐ可能性が高い。実際、18日までに公表された決算及び業績修正においては、中国や北米自動車向けの苦戦、産業機械向けの落ち込み、高機能スマートフォン販売の減少見通しなどを指摘する企業が多い。こうしたなか、今週発表される決算の中で24日の信越化学と日本電産に注目している。両社とも同日夕刻に決算説明会が予定されている。信越化学は、例年、1Q決算公表に合わせて開示する通期業績予想の水準と共に、半導体業界の見通しへのコメントが注目される。同社は半導体用ウエハに加えて、韓国への輸出規制が強化された半導体用フォトレジストの世界シェアが高い企業でもある。日本電産は、顧客からの引き合いを理由に期初時点で見込んでいた下期回復シナリオについての直近の判断が注目ポイントとなる。また、次週に開催されるFOMCでの利下げ幅が注目されており、金融政策担当者の発言やアメリカの経済指標にも注目したい。(7月18日現在、多功 毅)

今週の予定

	国内	海外
7/22 (月)	「テレワーク・デイズ」(~9/6) 6月の主要コンビニ売上高	[中]中国版ナスダック「科創板」取引開始 [欧]EUの化学物質規制改正
23(火)	東京製鐵(5423)1Q決算(15:00) FDK(6955)1Q決算(15:00) KOA(6999)1Q決算	[米]6月中古住宅販売件数(23:00) [英]保守党党首選結果判明 [スイス]WTO一般理事会(~24日)
24(水)	7月日本製造業PMI(9:30) オリンピック交通テスト第一回 信越化学(4063)1Q決算(15:00) 日本電産(6594)1Q決算(15:15)	[欧]7月ユーロ圏製造業PMI(17:00) [欧]EU経済・財務相(ECOFIN)理事会 [米]キャタピラー2Q決算(20:30) [米]6月新築住宅販売件数(23:00)
25(木)	日立建機(6305)1Q決算(15:00) オムロン(6645)1Q決算(15:00) ディスコ(6146)1Q決算(16:00) 日産自動車(7201)1Q決算(16:00) 日本肝移植学会(~26日)	[欧]ECB定例理事会 [独]7月IFO企業景況感指数(17:00) [トルコ]中銀政策金利(20:00) [米]6月耐久財受注(21:30) [米]アマゾン・ドット・コム2Q決算
26(金)	NTTドコモ(9437)1Q決算(15:00) 東京エレクトロ(8035)1Q決算(15:30) オリンピック交通テスト第二回	[仏]ミシュラン2Q決算 [米]4-6月期GDP速報値(21:30) [米]アルファベット2Q決算
27(土)	全国高校総合体育大会(~8/20)	朝鮮戦争休戦協定締結66周年
28(日)	オートバイ鈴鹿8時間耐久ロードレース	[独]自動車F1ドイツGP決勝

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

シルバーライフ (9262)

東証マザーズ



	17年7月期		18年7月期		19年7月期(予)		株価(7/18)	5,500 円
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	業種	小売業
売上高	5,245	26.4%	6,547	24.8%	7,716	17.9%	売買単位	100 株
営業利益	475	28.5%	599	26.0%	870	45.1%	PER(予想)	46.9 倍
経常利益	539	24.1%	677	25.6%	970	43.2%	PBR(実績)	8.3 倍
当期純利益	377	25.4%	431	14.2%	620	43.8%	ROE(実績)	20.4 %
EPS(円)	94.2		87.3		117.2		配当利回り(予想)	— %
配当金(円)	0.0		0.0		0.0		担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明資料より

高齢者向け配食サービスをフランチャイズ(FC)展開。管理栄養士が開発した和食中心の弁当食材をFC店へ提供し、FC店が店舗で盛り付けを行った後、高齢者の自宅まで配送。2019年4月末時点で「まごころ弁当」を413店、「配食のふれ愛」を280店運営。分量少なめ弁当やムース食、カロリー調整食、たんぱく調整食、やわらか食なども提供。他にも高齢者施設向け食材提供、他社向け冷凍弁当の提供(OEM)も行っている。19年7月期3Q累計決算における売上高比率はFCが71.8%、高齢者施設向け食材提供が16.5%、OEM・その他が11.6%になっている。

3Q累計決算は前年同期比21.4%増収、56.1%営業増益。自社工場の作業工程効率化、スケールメリットを生かした価格交渉力アップによる材料費の抑制、配送回数の変更による運賃費抑制が進み、通期の利益計画を上方修正。FCは店舗数の出店加速に伴い前年同期比18.2%増収。高齢者施設向け食材提供は前年同期比22.1%増収。介護報酬削減や人手不足、人件費の上昇などにより民間配食業者の食材販売サービスを活用する動きが拡大。契約施設数は、18年7月末比で704施設増の5,110施設へ増加。OEM先が堅調に売上を伸ばしており、OEM・その他は前年同期比44.2%増収。

生産性改善に伴い余剰生産能力が発生したことで、19年4月からアマゾンで冷凍弁当の販売を開始。冷凍弁当のネット通販市場の存在と成長性が確認できたことで、6月から自社ECサイトをオープンすると共に、7月から楽天でも販売を開始。また、Yahoo!ショッピングにも出店予定。物流センターの業務の効率化と、お盆の物流混乱時期の通過を待ち、8月後半から大々的に広告を投下する計画になっており、冷凍弁当のネット販売が事業の柱の一つへ成長することが期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(7/18)	コメント
ウエルシア HD (3141) 東証1部 5,160円	1Q決算は前年同期比10.7%増収、31.3%営業増益。計画対比では売上高で2.2%、営業利益で13.3%上振れ着地。既存店売上高が調剤中心に順調に推移。課題の人員費も、パート採用の本部コントロール強化や勤怠管理システムの導入などが効果を上げている。これまで買収した企業群も、ウエルシアのノウハウ導入によって順調に売上、収益性が向上。業績計画は据え置いているが、上期の上振れ確度は高いものと思われ、通期についても増額を期待したい。(多功 毅)
コスモス薬品 (3349) 東証1部 19,860円	前期決算は、既存店売上高が医薬品、食品中心に堅調に推移し前年比1.7%増収となったことに加えて、新規出店の寄与もあり9.5%増収、人件費を中心としたコスト増を粗利率の改善でカバーし計画を上回る8.9%営業増益で着地。今期については、消費税増税後も全商品価格据え置きを前提に上期は4.1%営業減益を見込むものの、下期は増収効果でカバーすることを見込み、通期では7.7%増収、0.1%営業増益を計画。(多功 毅)
クスリの アオキ HD (3549) 東証1部 7,460円	前期は既存店売上高が2.3%増と堅調に推移。積極出店に伴う不動産費率の悪化があったが、既存店の増収効果及び粗利益率の改善がけん引し前年同期比13.4%増収、19.3%営業増益。今期は、関東、東海・近畿といった新規進出エリアを中心とした高水準の出店継続、薬価改定の影響による粗利益率の悪化、中計目標の売上高3,000億円達成のために販促積極化によるコスト増を見込むものの、前期に出店した店舗の寄与により19.6%増収、6.0%営業増益を計画。(多功 毅)
Sansan (4443) 東証マザーズ 5,820円	19年5月期決算は前年同期比39.3%増収、営業利益は30.6億円の赤字から8.5億円の赤字へ改善。売上増と知名度アップによる広告宣伝費の縮小により、赤字幅が縮小。名刺管理サービスのSansan事業は前年同期比36.8%増収。Sansanの契約件数は前年同期比13.1%増の5,823件へ、契約当たり月次売上高は21.9%増の約15.6万円へ拡大。直近12カ月の平均月次解約率は0.66%。17年の名刺管理市場で売上金額シェアは81.9%を占めている。今期もSansanの成長が継続し前年同期比35.4%増収、営業黒字転換計画。(松本 直志)
ハイアス・アンド・カンパニー (6192) 東証マザーズ 324円	建築家に設計を依頼して、高いデザイン性を持つ戸建住宅を建てることのできるパッケージサービス「R+house」の利用が伸び、19年4月期決算は前年同期比30.9%増収、16.3%営業増益。「R+house」は受注件数が前年同期比37.3%増の1,328戸に伸び、売上は27.5%増、売上総利益は62.6%増と好調に推移。今期は前年同期比37.7%増収、34.4%営業増益計画。「R+house」は前年同期比10.2%増収、売上総利益は10.8%増の計画。(松本 直志)
ユニー・ファミリーマート HD (8028) 東証1部 2,481円	20年2月期1Q決算は事業利益が前年同期比47.6%増となり良好なスタート。ファミマの既存店売上、ブランド転換店売上がともに拡大。統合費用の減少、本部コスト削減も貢献し大幅増益を達成。惣菜や新コーヒーマシン、新商品のポテチキ、イチオシ弁当など商品戦略が奏功したことに加え、値上げがあったタバコの売上増も貢献し既存店売上は前年同期比1.7%増加。スマートフォンアプリのファミペイは、サービス開始9日で250万DLを突破。今後、ファミペイを使った販促を強化していく方針。(松本 直志)

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室